



IXIL 室内引戸用 自動開閉機 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

- 漏電、感電や火災の原因になりますので、下記事項をお守りください。
 - ・電源線は折曲げたり、挟んだり、キズ付けたり、釘などで固定しないでください。
 - ・指定の電源(交流100V 50/60Hz)以外は使わないでください。
 - ・たこ足配線などコンセントや配線器具の定格を超えて使わないでください。
 - ・電源コードをぬれた手で抜き差ししないでください。
 - ・電源コードを抜くときは、電源プラグ本体を持っておこなってください。

▲注意

- 作動確認をする際、駆動部分に手指を入れないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
- 自動開閉機(以下、本機と称す)の脱落によりケガをするおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・必ず指定のねじ、アンカープラグを指定の本数使用し、固定してください。
 - ・アンカープラグを打ち込む前にφ5ドリルで下穴をあけてください。

■取付け上のおお願い

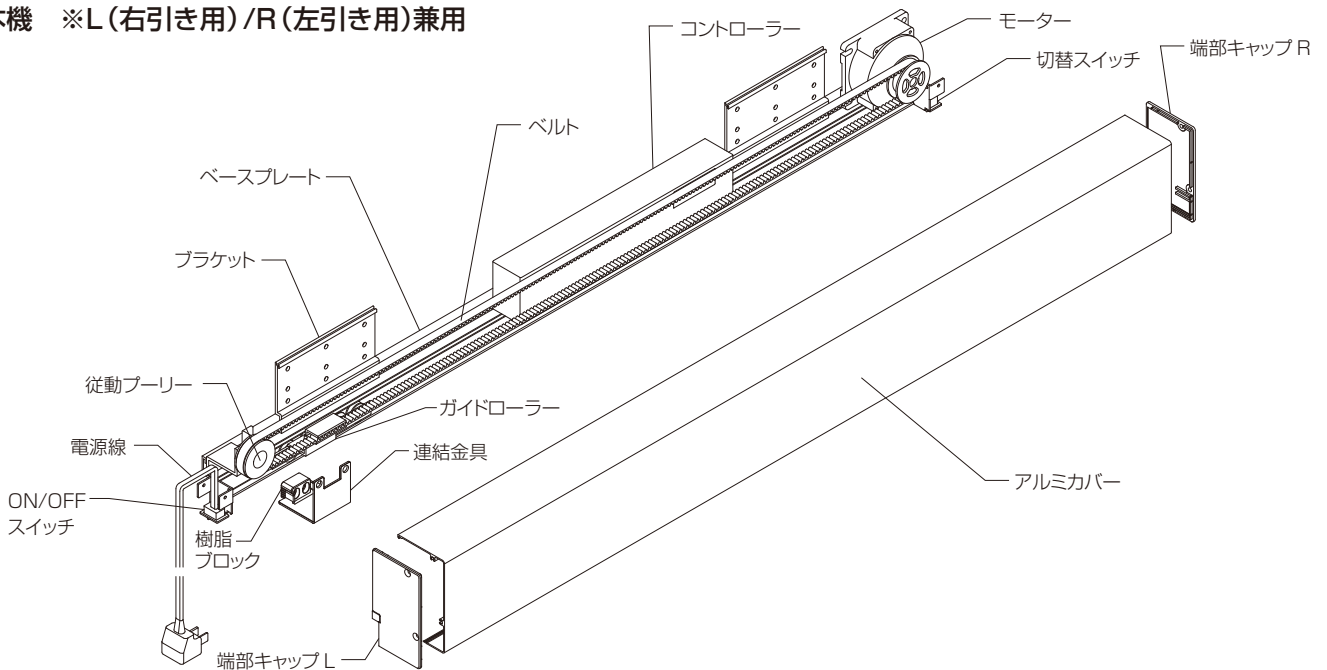
- 電源コードの取り出し方向により長さが変わります。コンセントがコード長さ内で納まる位置であるか確認してください。
- 本機設置個所に空調機などの冷気が直接あたらない位置であることを確認してください。結露により故障の原因となるおそれがあります。
- 本機の設置スペースが確保できていることを確認してください。設置位置のスレなどにより作動不良の原因となるおそれがあります。
- 本機を取付ける前に引戸のたて枠、上下枠のゆがみが無いことを確認してください。自動開閉の作動不良の原因になります。3mm以上の誤差がある場合は、引戸の取付業者さまへ手直しをお願いしてください。
- 引戸の上枠(ケーシング含む)が本機設置面(壁)より11mm以上出っ張っている場合は、調整板などを用意して11mm以下になるようにしてください。本機の変形による作動不良の原因になります。
- 引戸のブレーキ部品やソフトクローズの受け部品を外してください。ブレーキ機能がはたらくと本機の作動不良の原因になります。
- 通电後、必ず初期設定を完了させてください。
- アルミカバーをブラケット上端に引っ掛け、両端金具の突起にかん合させてください。カバーの変形により作動不良の原因になります。
- 壁仕上げの際、本機を塗込まないでください。メンテナンスができなくなります。

■同梱部品の確認

<p>開閉機 (本体+カバー)</p>	<p>①本機固定部品</p> <p>なべタッピンねじ φ4×35</p>	<p>②連結部品・キャップ・ねじなど</p> <p>樹脂ブロック(各1個) H15 H20 H25</p> <p>連結金具</p> <p>なべタッピンねじ φ4×16(2本)</p>
<p>用意するもの</p> <p>⊕ドライバー メジャー</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電動ドリル ●ドリル刃φ5 (木工用) ●ドリル刃φ2~2.7(木工用) ●ゴムハンマー (あれば便利) 	<p>アンカープラグ φ5×25</p> <p>(1000タイプ:各8本) (1100タイプ:各12本)</p>	<p>端部キャップ (L/R各1個)</p> <p>皿タッピンねじ(白) φ4×12(4本)</p> <p>○精密ドライバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ●取付け説明書 ●取扱い説明書

■構成図

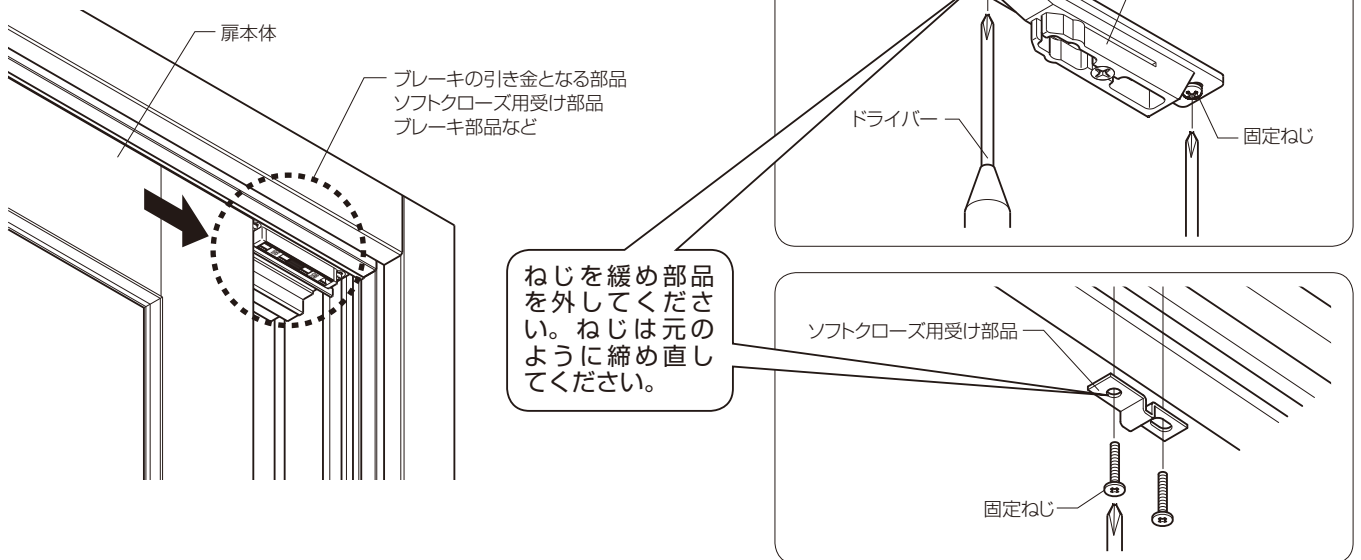
本機 ※L(右引き用)/R(左引き用)兼用



■取付け順序

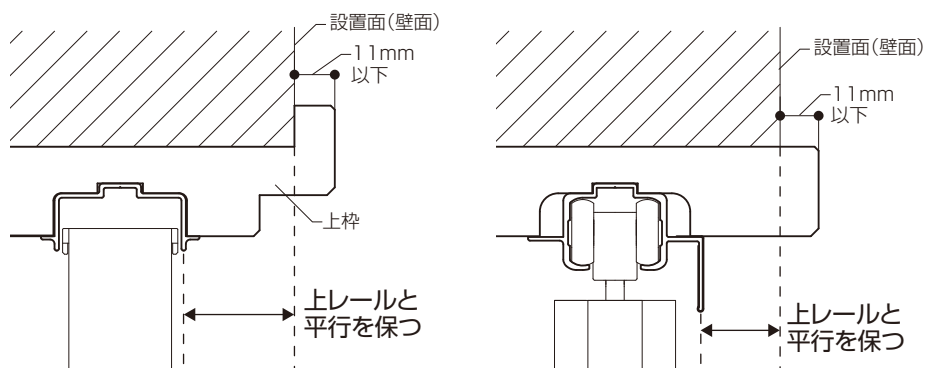
1 ブレーキ部品、ソフトクローズ用受け部品などの取外しについて

上枠レール部に取付けてあるブレーキの引き金となる部品を外してください。ブレーキ機能がはたらくと本機の作動不良の原因となります。



2 設置個所の寸法確認、調整について

引戸の上枠(ケーシング含む)が本機設置面(壁)より11mm以上出ている場合は、設置面をふかして11mm以下となるようにしてください。自動開閉の作動不良の原因になります。また、本機が上枠のレールと「平行」に納まるよう調整板を用意してください。

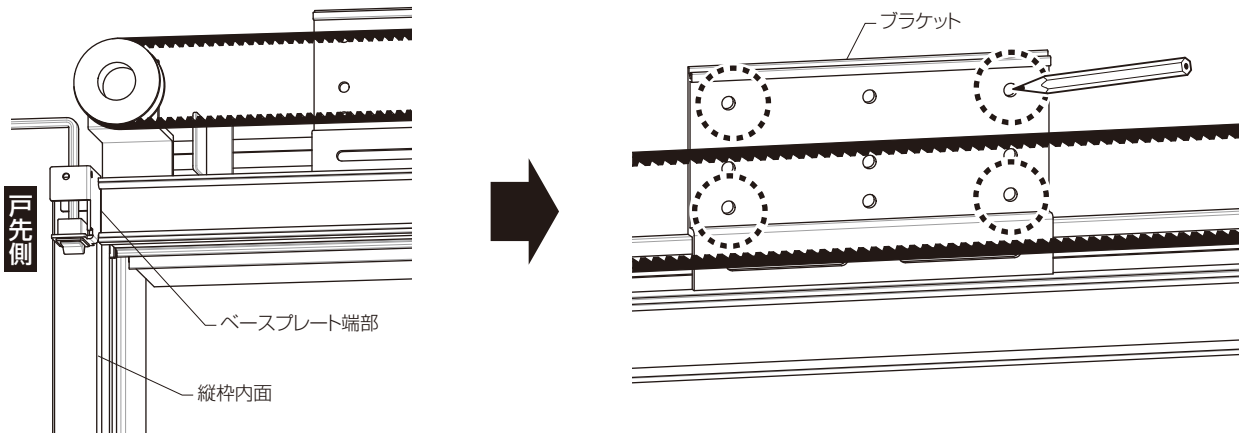


3 本機の取付け

① 梱包から本機を取り出してください。

② 本機を引戸の上枠に載せ手で押さえながらベースプレート端部を縦枠内面に合わせた状態で図のようにブラケットの穴に沿ってしるしを付けてください。しるしを付け終わったら本機を元に戻してください。

※L(右引き用)の設置例

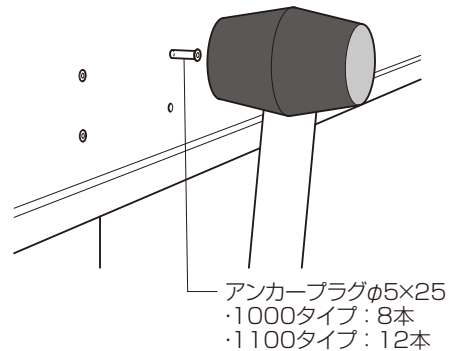


▲ 注意

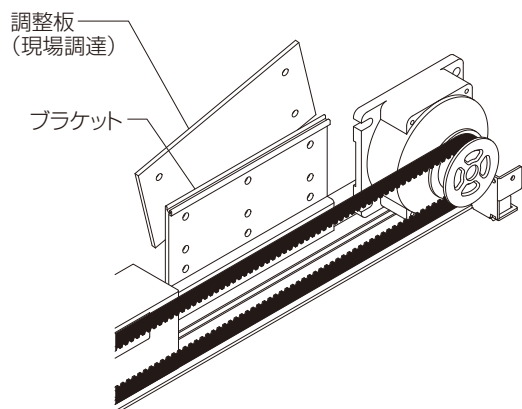
● アンカープラグを打ち込む前にφ5ドリルで下穴をあけてください。本機が脱落してケガをするおそれがあります。

③ 壁のしるしの中心位置にφ5ドリルで下穴をあけてください。

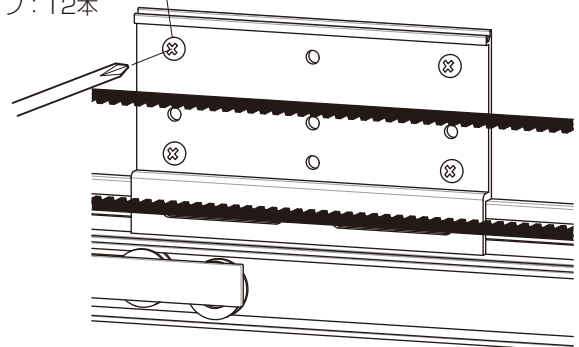
④ 指定のアンカープラグを指定の本数使用して差し込みゴムハンマーなどでたたき込んでください。アンカープラグのフランジ頭が石膏ボードにめり込むとねじが空回りして締め付けができなくなります。その場合は別の穴位置に変えてください。



⑤ 引戸の上レールと平行になるように必要に応じて調整板(現場調達)を挟み、本機のブラケット穴とアンカープラグ穴の位置を合わせ、指定のねじを指定の本数使用して締め付けてください。



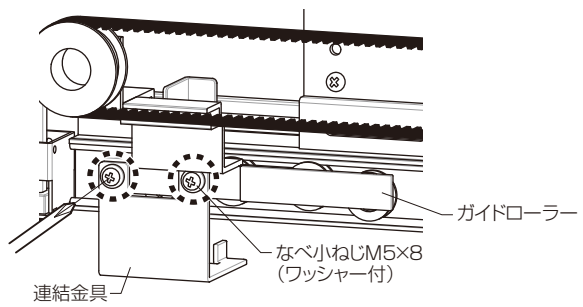
なべタッピンねじφ4×35
・1000タイプ：8本
・1100タイプ：12本



4 始動点の位置決めについて

①右図のように、ガイドローラーの左側に付いているなべ小ねじM5×8(ワッシャー付)2本を使用して連結金具を仮締めし、引戸の扉、上レール、幕板に干渉しないことを確かめてください。

※幕板：主にあかり漏れを防ぐ目的で取付けるもので上レールと別体のものも含む。

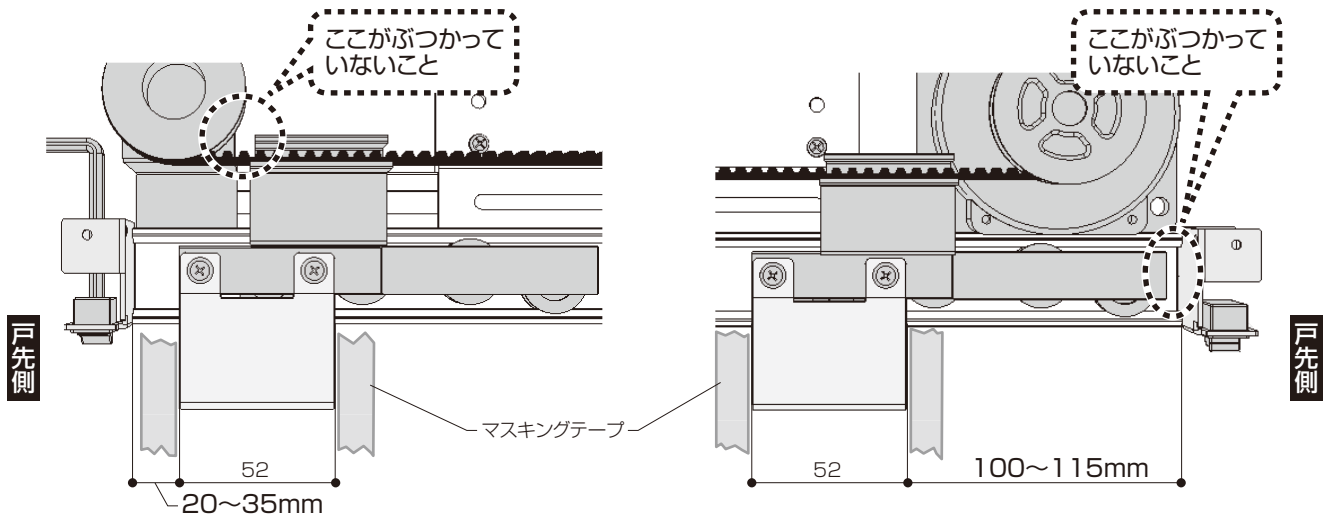


②扉を閉めきった状態としてください。

③連結金具が下図の寸法範囲内に納まるようガイドローラーを手で動かし、連結金具の位置のしるしとして扉面にマスキングテープを貼ってください。

【右引きの場合】

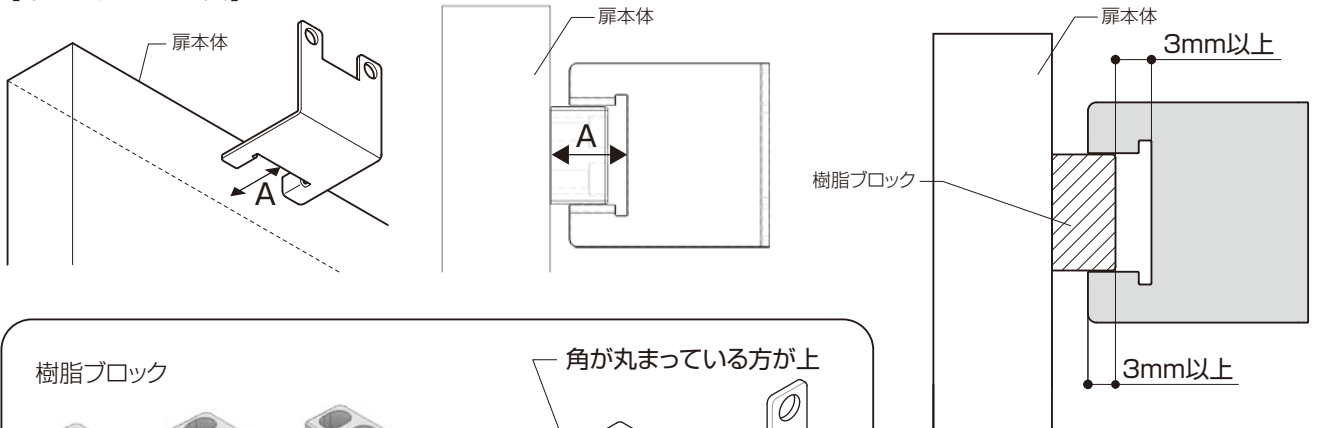
【左引きの場合】



5 樹脂ブロックの選定・取付けについて

①下図のように、A寸法を測り、(下から見て)かかりしろ、クリアランスが右図の寸法を満たす樹脂ブロックを3つの中から1つ選んでください。

【下から見上げた図】



樹脂ブロック



H15

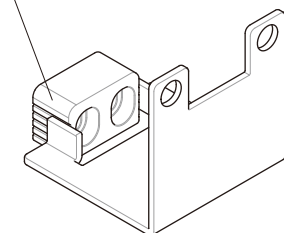


H20



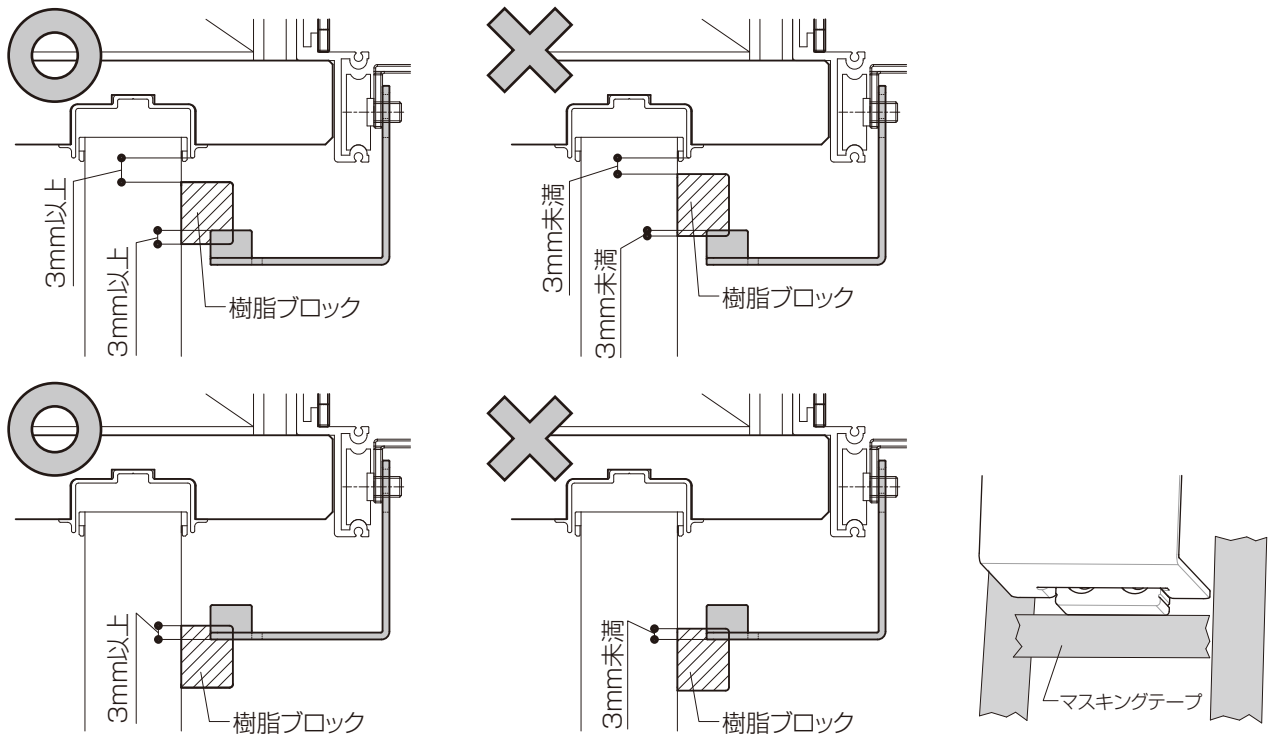
H25

角が丸まっている方が上



A (mm)	ブロック
18以上23未満	H15
23以上28未満	H20
28以上37以下	H25

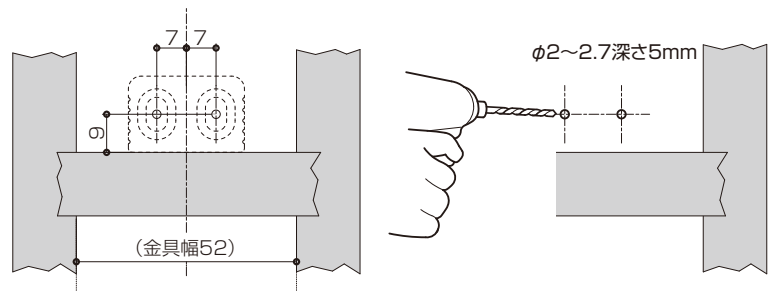
- ②選んだ樹脂ブロックを連結金具の切欠き内に挿入し、下図のように高さ方向の「金具のかかりしろ」や、「レール・幕板との距離」を3mm以上確保した位置を決めて、ブロック下端の印としてマスキングテープを扉面に貼ってください。
 ※金具下端からのブロック出寸法を最小限に抑えた方が外観上好ましいです。



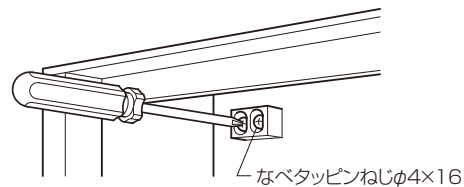
- ③連結金具を仮締めしたねじを緩め、連結金具とねじを元に戻してください。

- ④扉面に縦と横に貼ったマスキングテープ位置をもとに、樹脂ブロックのねじ固定穴の中心にしるしをつけてください。

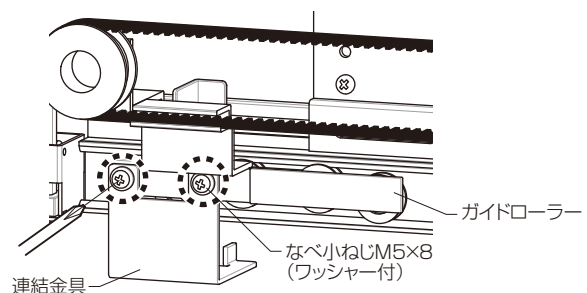
- ⑤しるしの中心位置にφ2～2.7mmのドリルで深さ5mmの下穴をあけてください。



- ⑥手回しドライバーを使い、樹脂ブロックを指定のねじ2本で扉に締め付けてください。



- ⑦樹脂ブロックを挟みながら連結金具を指定のねじ2本で締め付けてください。



■各調整値の設定

※お客様立会いのもと、同梱のマイナス精密ドライバーでコントローラーの各スイッチを調整してください。

①L仕様(右引き用)の場合はSW1-1が「OFF」、
R仕様(左引き用)の場合は「ON」になっていることを確認してください。



上側が「OFF」
下側が「ON」

②調整方法は取扱い説明書に記載している内容を参照してください。

③取扱い説明書に設定値を記載する欄がありますので確認してください。

④精密ドライバーは取扱い説明書と一緒にお客様へお渡しください。

引戸の質量設定	RSW1	SW1	VR1	VR2	VR3
1 質量 15kg 小・中・大	0	ON	±400mm/sec	200mm/sec	2sec PBスイッチ
6 質量 33kg	1	OFF	±200mm/sec	100mm/sec	10sec アシスト
7 質量 24kg	2	ON	±250	250	25
9 質量 33kg	3	OFF	Min	Max	Min
			Max	Max	Max
			開放速度	閉鎖速度	保持時間

SW1-3	OFF	走行抵抗 中～大、特大	SW1-2	OFF → ON	ストローク記憶	SW1-1	OFF	右引き
走行抵抗 切替	ON	走行抵抗 小	ストローク 記憶	ON → OFF	ストローククリア	勝手 切替	ON	左引き

■試運転

▲ 警告

●指定の電源(100V 50/60Hz)以外は使わないでください。
漏電、感電や火災の原因になります。

- ①実際に使用する100Vコンセント側に、コンセントプラグが付いている電源線を本機の側面から出してください。
- ②延長コードなどを使いコンセントプラグを100Vコンセントに差し込んでください。
- ③本機の左側にあるON/OFFスイッチをONにしてください。引戸が動き出し、開放端、閉鎖端の位置を記憶します。
- ④引戸を15mm開く方向に動かし、アシスト機能が正常に作動するか確認してください。

■キャップ、カバーの取付け

お願い

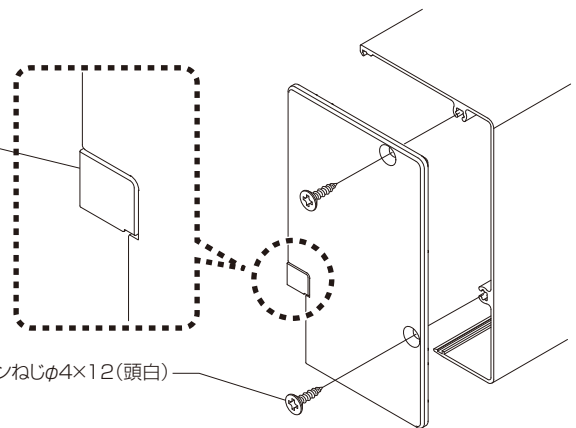
端部キャップのねじ締付けは手回しドライバーを使用してください。
端部キャップが破損する原因となります。

①右図のように向きを合わせて、指定のねじ2本で端部キャップを手回しドライバーで締め付けてください。

※電源コードを取り出す側は図のようにキャップの爪を切り目で折り、取り除いてください。

爪部
電源コード
取り出し用

皿タッピンねじφ4×12(頭白)



②アルミカバーの取付け

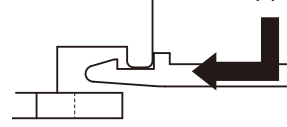
お願い

アルミカバーをブラケット上端に引っ掛け、両端金具の突起にかん合させてください。
カバーの変形により作動不良の原因になります。

①上端に引っ掛ける



②カバーを下に引っ張りながら金具の突起にかん合させる。



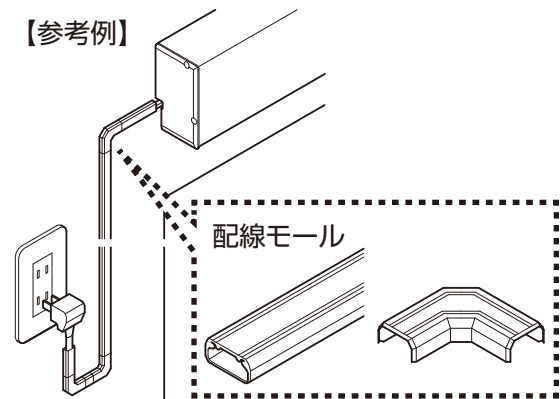
■電源線の処理とコンセント挿入

▲ 警告

●電源は折曲げたり、挟んだり、キズ付けたり、釘などで固定しないでください。漏電、感電や火災の原因になります。

- ①コンセントプラグの付いている電源線を市販の配線モールで納めてください。
- ②コンセントプラグを100Vコンセントに挿入してください。ON/OFFスイッチをONにして通常運転が開始できます。

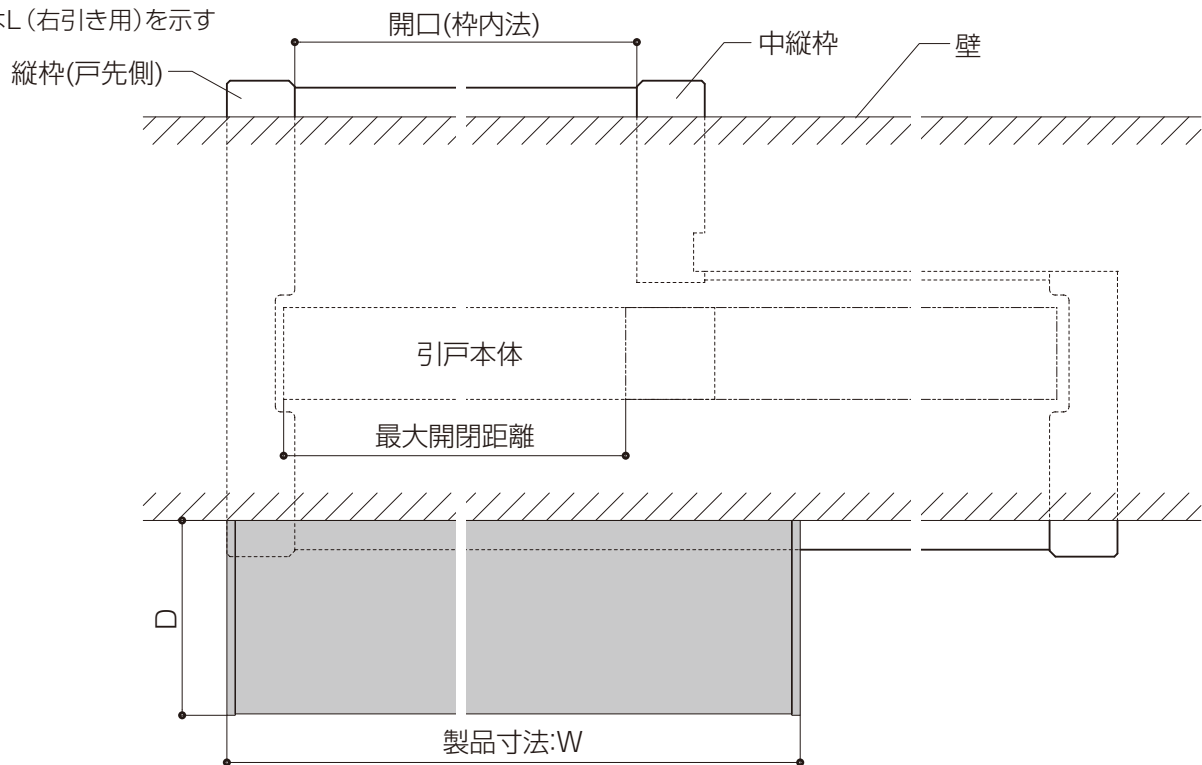
【参考例】



■平面 納まり図(参考例)・仕様一覧表

【平面 納まり図】

※本図はL(右引き用)を示す



【仕様一覧表】

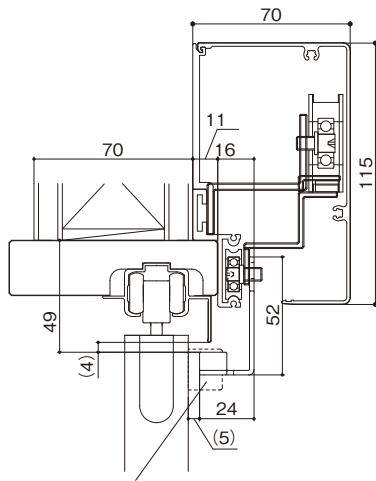
形名	1000タイプ	1100タイプ
適用扉重量	10～20kg(上吊式は～30kg)	10～20kg(上吊式は～30kg)
最大開閉距離	820mm	920mm
製品寸法	D70×H117×W1047mm(連結部品除く)	D70×H117×W1147mm(連結部品除く)
重量	3.8kg	4.0kg
駆動装置	ブラシレスDCモーターによるダイレクト駆動(タイミングベルト)	
電源	AC100V(50/60Hz共用)	
消費電力	連続使用時：※0.065Wh/回、待機時：4.4W ※扉重量16kg、開放10秒、開閉距離770mm時	
開き速度	低速：25～250mm/秒(初期設定 200mm/秒) 高速：150～500mm/秒(初期設定 400mm/秒)	
閉じ速度	低速：25～200mm/秒(初期設定 100mm/秒) 高速：25～400mm/秒(初期設定 200mm/秒)	
開放時間調整	低速：0～20秒(初期設定 10秒) 高速：0～4秒(初期設定 2秒)	
走行抵抗切替機能	OFF：抵抗中～特大、ON：抵抗小	
使用環境	屋内専用 温度0～40℃ 湿度85%以下	
※センサー操作スイッチ	赤外線センサー(熱エネルギーの変化により発生する電位差利用)視野角度水平138° 垂直125° 100mm以内(付ける位置による)	

※オプションスイッチ使用時

■断面 納まり図(参考例)

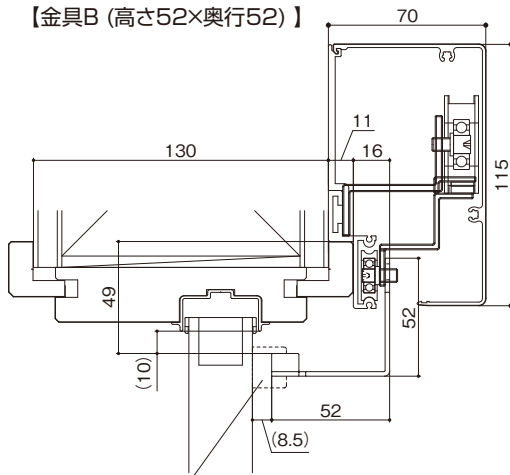
【連結金具 A・B・C 高さ52mm】

【金具A (高さ52×奥行24)】



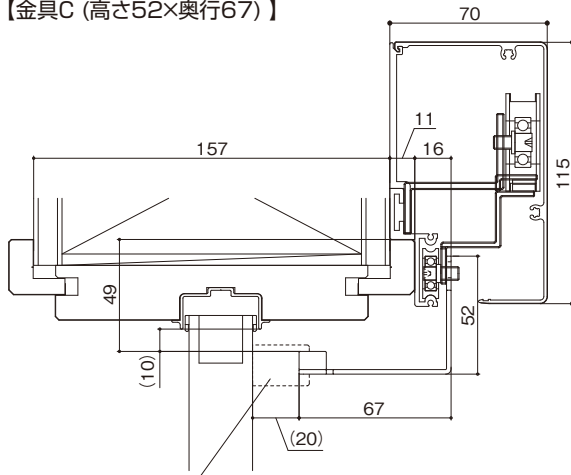
※樹脂ブロックはH15を使用

【金具B (高さ52×奥行52)】



※樹脂ブロックはH15を使用

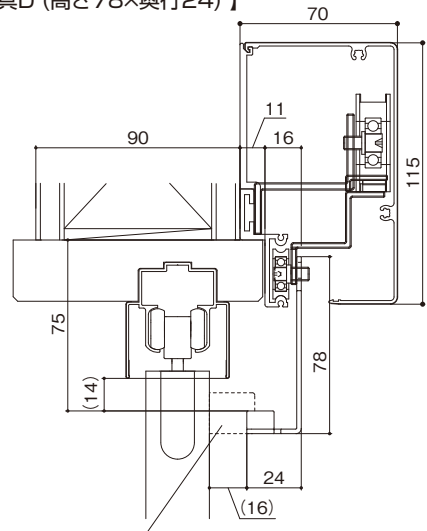
【金具C (高さ52×奥行67)】



※樹脂ブロックはH25を使用

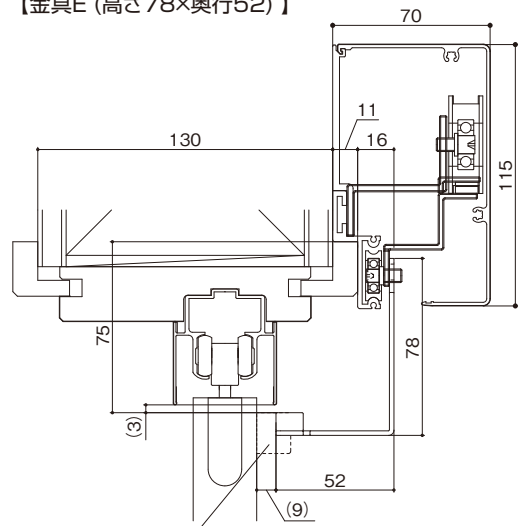
【連結金具 D・E・F 高さ78mm】

【金具D (高さ78×奥行24)】



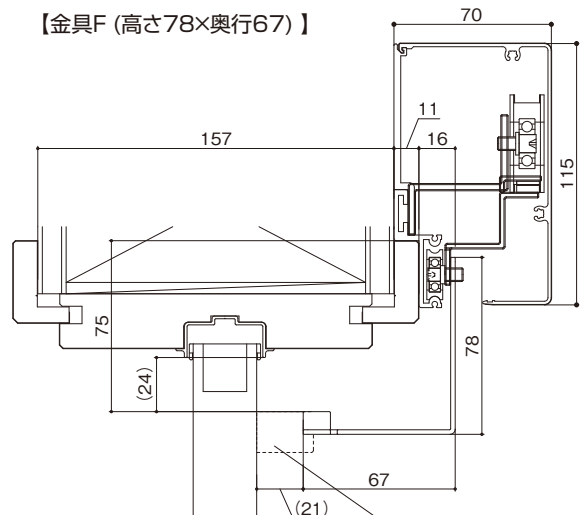
※樹脂ブロックはH20を使用

【金具E (高さ78×奥行52)】



※樹脂ブロックはH15を使用

【金具F (高さ78×奥行67)】



※樹脂ブロックはH25を使用